



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイマックス  
 コード番号 4299 URL <https://www.himacs.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 太  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岡田 喜久男 TEL 045-201-6655  
 経営管理本部長兼財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,709	7.6	303	△28.7	306	△28.6	205	△29.2
2019年3月期第2四半期	7,166	11.2	425	5.5	428	5.4	289	3.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 194百万円 (△35.9%) 2019年3月期第2四半期 303百万円 (5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	41.99	—
2019年3月期第2四半期	59.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	9,996	7,696	77.0	1,579.28
2019年3月期	10,231	7,624	74.5	1,564.44

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,696百万円 2019年3月期 7,624百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	1.1	800	△18.9	803	△19.1	538	△25.0	110.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	6,206,496株	2019年3月期	6,206,496株
2020年3月期2Q	1,333,432株	2019年3月期	1,333,419株
2020年3月期2Q	4,873,074株	2019年3月期2Q	4,873,129株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

また、当社は、同日にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報) .....	6
3. その他 .....	7
受注及び販売の実績 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど回復基調となった一方、通商問題の影響により輸出が弱含むなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

情報サービス産業におきましては、競争力強化や将来の成長のために、新たなデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む企業が増加しております。一方、技術者不足が慢性化していることに加えて、大規模案件が収束し中小規模の案件が増加することで、従来以上にプロジェクト・リーダー(PL)の確保・育成が必要となっております。

このような経営環境の下、当社グループは、既存領域を深掘りし安定的な受注確保に努めるとともに、DX関連案件の積極的受注など将来の事業拡大を見据えた受注に注力いたしました。また、個人別スキル分析を基にした人材育成及びプロジェクトマネジメント力の向上など体質の強化に取り組みました。

その結果、保険業界向け案件が拡大するなどにより、連結売上高は7,709百万円（対前年同四半期増減率7.6%増）となりました。また、利益面では体質の強化及び新規事業への計画投資に加え、一部に不採算プロジェクトが発生したことなどにより、営業利益は303百万円（同28.7%減）、経常利益は306百万円（同28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は205百万円（同29.2%減）となりました。

なお、サービス分野別の売上高については、システムの企画／設計・開発フェーズで提供するシステム・ソリューションサービスは、公共及び流通業界向け案件が収束したことなどにより、3,851百万円（対前年同四半期増減率0.1%減）となりました。また、システムの稼働後に提供するシステム・メンテナンスサービスは、保険及びクレジット業界向け案件が拡大したことなどにより、3,858百万円（同16.6%増）となりました。

また、本日開催の取締役会において、1株につき25円の間配当を実施することを決議いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,996百万円となり、前連結会計年度末（10,231百万円）と比較して235百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が133百万円、売掛金が43百万円、仕掛品が40百万円、それぞれ減少するなど流動資産合計が202百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,300百万円となり、前連結会計年度末（2,607百万円）と比較して307百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が71百万円、流動負債のその他に含めて表示している前受金が110百万円、未払消費税等が88百万円、それぞれ減少するなど流動負債合計が314百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,696百万円となり、前連結会計年度末（7,624百万円）と比較して72百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益205百万円を計上し、2019年3月期の期末配当として122百万円の支払いを行ったことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日に開示いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,570	5,437
売掛金	2,013	1,971
仕掛品	93	53
その他	67	80
流動資産合計	7,743	7,541
固定資産		
有形固定資産	114	116
無形固定資産	96	86
投資その他の資産		
長期預金	1,100	1,100
その他	1,181	1,156
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,278	2,253
固定資産合計	2,488	2,455
資産合計	10,231	9,996
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	672	635
未払法人税等	206	135
賞与引当金	607	617
役員賞与引当金	24	11
受注損失引当金	14	93
その他	718	435
流動負債合計	2,240	1,926
固定負債		
退職給付に係る負債	347	356
その他	20	18
固定負債合計	367	374
負債合計	2,607	2,300
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	689	689
資本剰余金	666	666
利益剰余金	7,125	7,208
自己株式	△883	△883
株主資本合計	7,596	7,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	8
退職給付に係る調整累計額	18	9
その他の包括利益累計額合計	27	17
純資産合計	7,624	7,696
負債純資産合計	10,231	9,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	7,166	7,709
売上原価	5,845	6,480
売上総利益	1,321	1,228
販売費及び一般管理費	896	926
営業利益	425	303
営業外収益		
保険配当金	2	1
その他	2	2
営業外収益合計	3	3
営業外費用		
保険解約損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	428	306
税金等調整前四半期純利益	428	306
法人税等	139	101
四半期純利益	289	205
親会社株主に帰属する四半期純利益	289	205

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	289	205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
退職給付に係る調整額	14	△9
その他の包括利益合計	14	△10
四半期包括利益	303	194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303	194
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

当社グループは、バリュー・ソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(受注及び販売の実績)

当社グループの事業は、バリュー・ソリューションサービス事業単一であります。サービス分野別の受注及び販売の実績を示すと、次のとおりであります。

①受注実績

(単位：百万円)

サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)			
	受注高	対前年同四半期 増減率 (%)	受注残高	対前年同四半期 増減率 (%)
システム・ソリューションサービス	3,525	△3.6	1,107	△23.5
システム・メンテナンスサービス	4,149	15.9	1,648	35.9
合計	7,674	6.0	2,756	3.6

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注高は「受注・売上管理規則」に基づき個別契約の締結、注文書もしくはこれらに準じる文書を受領したときをもって計上しております。

②販売実績

(単位：百万円)

サービス分野別	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
システム・ソリューションサービス	3,851	△0.1
システム・メンテナンスサービス	3,858	16.6
合計	7,709	7.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

また、業種別販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

業種別		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
金融	銀行	883	△0.2
	証券	393	5.3
	保険	3,302	14.7
	クレジット	902	6.5
金融小計		5,480	10.0
非金融	公共	833	△7.3
	流通	326	△25.7
	その他	1,070	26.6
非金融小計		2,229	2.1
合計		7,709	7.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。